

TAKURA WATCHING

今月も町の話が盛りたくさん！

3



3 地域の工業から学ぶ

11月19日(月)、イトアンド(株)関東工場で東洋大学・板倉町・館林市共催によるサイエンスカフェが開催されました。参加者は同工場での食品製造工程を見学した後、同工場で生産している餃子を試食しながら、講師の塚本哲夫氏が語る食材へのこだわりを耳を傾けていました。

4



4 手軽に楽しむ

12月6日(木)、中央公民館で県民スマホ・タブレット入門講座が行われ、20名のかたが、基本操作からアプリケーションの使い方までを学びました。直感的で手軽に利用できる端末に触れ、参加した清野重雄さん(海老瀬)は、「初めて操作しました。この機会にうまく活用してみたい」と話しました。

5



5 給食大好き

12月6日(木)、南小学校への教育委員訪問が行われました。教育委員は授業を行っている教室を訪問した後、教室で児童たちと一緒に給食を食べました。鈴木実教育長は「教育委員として初めてのことでしたが、給食での子どもたちの様子を実際に見ることができ、よい試みでした」と話しました。

6



6 板倉の冬を彩る

12月13日(木)、東洋大学板倉キャンパスにてイルミネーション点灯式が行われ、町民や学生がライトアップの瞬間を見守りました。実行委員の長澤仁美さんは「今年は遊べるイルミネーションをテーマに、願い事を書けるドリーム・カム・ツリーを設置しました」と話しました。1月26日(土)まで点灯します。

1



1 みんなが主役

12月5日(水)、北保育園で生活発表会が行われました。生活発表会は、歌や楽器、オペレッタを通して音楽に親しみ、友達といっしょに楽しみながら一つの事をやり遂げる達成感を味わってもらう行事です。

この日のために、10月から練習を重ねてきた園児たち。会場は、我が子・孫の発表を心待ちにしていた多数の保護者のかたであふれました。最初は緊張した様子の園児たちでしたが、発表が始まると手遊び・楽器演奏・お遊戯・合唱など練習の成果を発揮し年齢に応じたかわいい発表が行われました。

すみれ組の島田煌矢くん(除川)は、「上手にできて良かった。シンバルが重かったけれど、みんなといっしょに合奏できて楽しかった」と感想を話してくれました。

川村豊子園長は、「子どもたちは、みんな本番に強い。どの発表も今日が一番すばらしい」と話しました。昨年の発表会より一回りも二回りも成長した子どもたち。来年の発表会も楽しみです。

2 一矢入魂

11月25日(日)、弓道場にて、板倉町弓道場落成祝賀射会が行われました。昨年3月の開場以来、延べ2,000名以上のかたの生涯スポーツの拠点として利用されています。

60名以上の会員を持つ板倉町求道会の増田正巳会長(岩田)は「弓道は、老若男女誰もが親しむことのできる競技。昭和27年に発足して以来、求道会は多くの絆で結ばれています」とあいさつしました。

2

